

理学研究科 数学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数：28単位】

授業科目名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
専門分野			
必修科目(12単位)			
文献研究1	3		
文献研究2	3		
文献研究3		3	
文献研究4		3	
選択必修科目(8単位) ※1			
代数学			
代数学講究1	2		数選必
代数学講究2	2		数選必
代数学講究3		2	数選必
代数学講究4		2	数選必
幾何学			
幾何学講究1	2		数選必
幾何学講究2	2		数選必
幾何学講究3		2	数選必
幾何学講究4		2	数選必
解析学			
解析学講究1	2		数選必
解析学講究2	2		数選必
解析学講究3		2	数選必
解析学講究4		2	数選必
確率・統計			
確率論講究1	2		数選必
確率論講究2	2		数選必
確率論講究3		2	数選必
確率論講究4		2	数選必
選択科目(8単位)			
代数学			
代数学特論A	2		数選
代数学特論B	2		数選
代数学特論C	2		数選
代数学特論D	2		数選
代数構造特論A	2		数選
代数構造特論B	2		数選
代数構造特論C	2		数選
整数論	2		数選
表現論	2		数選
代数幾何学	2		数選
幾何学			
幾何学特論A	2		数選
幾何学特論B	2		数選
微分幾何学特論A	2		数選
微分幾何学特論B	2		数選
位相幾何学特論A	2		数選
位相幾何学特論B	2		数選
シンプレクティック幾何学A	2		数選
シンプレクティック幾何学B	2		数選
ゲージ理論A	2		数選
ゲージ理論B	2		数選
解析学			
解析学特論A	2		数選
解析学特論B	2		数選
解析学特論C	2		数選
微分方程式特論A	2		数選
微分方程式特論B	2		数選
偏微分方程式論	2		数選
実関数論A	2		数選
実関数論B	2		数選
関数論特論	2		数選
関数解析学特論A	2		数選
関数解析学特論B	2		数選
応用解析学特論A	2		数選
応用解析学特論B	2		数選
確率・統計			
確率論特論	2		数選
統計学特論	2		
共通			
特別講義A	2		
特別講義B	2		
特別講義C	2		
特別講義D	2		
特別講義E	1		
特別講義F	1		
特別講義G	1		
特別講義H	1		
特別講義I	1		
特別講義J	1		

【一般教養科目・修了所要単位：2単位】

授業科目名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
選択必修科目(2単位)			
教養(共通)			
自然を学ぶ科目群			
物理学から見る理学の世界1		1	
物理学から見る理学の世界2		1	
物理学から見る理学の最前線1		1	
物理学から見る理学の最前線2		1	
物理学から見る理学の未来1		1	
物理学から見る理学の未来2		1	
人間と社会を学ぶ科目群			
社会科学系			
Japan's diplomacy in the context of globalization	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知財情報科学		1	
知的財産特論		2	
表現・コミュニケーション系			
サイエンス・ライティング		2	
Presentation Skills		2	
キャリアデザイン系			
実践的リーダーシップを学ぶ		2	
数学科探究学習論		2	数選
教授メディア学習論		1	数選
学校インターンシップ(アドバンス)		1	数選
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Academic English 1		2	
Academic English 2		2	
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学者・技術者の倫理		1	
科学文化概論		2	
情報学・環境学系			
環境安全科学		1	
ゼミ・特別講義系			
ウォーターサイエンス特論		2	

【一般教養科目・修了所要単位には含まれない】

教養(他分野)			
科学文化特論		2	
科学史特論		2	

【履修方法】

1. 以下①～④を全て満たし、合計30単位以上修得すること。
 ①専門必修科目12単位を修得すること。
 ②※1の専門選択必修科目から、自己の指導教員が担当する授業科目1～4を4科目8単位修得すること。
 ③専門科目群の専門選択科目を8単位以上修得すること。
 ④一般教養科目2単位を修得すること。
 ただし、2単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めない。

2. 研究科の定めるところにより、以下に掲げる授業科目を履修することができる。

- ①所属専攻以外の専攻課程による授業科目
- ②他の研究科の授業科目
- ③他大学の大学院の授業科目
- ④学部内の授業科目

- ①～③の授業科目において修得した科目の単位のうち、修了所要単位として含めることができる単位数は4単位までとする。ただし、このうち教養(共通)科目については、修了所要単位として含めることができる単位は2単位までとする。

3. 「数学科探究学習論」、「教授メディア学習論」、「学校インターンシップ(アドバンス)」については教職課程登録者に限り履修することができる。

【教免区分】

教育職員免許状取得のための単位認定区分を示す。

< 大学が独自に設定する科目(数学) >

数選必 ⇒ 数学の選択必修科目

数選 ⇒ 数学の選択科目

注 教育職員免許状取得希望者は、大学院要覧『教職課程について』(P.68)を必ず参照すること。